

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,020,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H29上半期	H28下半期	H28上半期	H27下半期	H27上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	17,669	14,929	16,923	14,865	15,109
	移動児童館利用者数	1,056	1,227	945	1,183	1,392
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	23	24	23	26	26
	開館日数(単位:日)	157	151	157	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤は計画どおり実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員2人(児童厚生員2人(体育指導員1人)、派遣職員2人 ③毎月のおたよりは、小学校・幼稚園・公民館・地域の公園、健康センターなどに配布し、ホームページにも掲載。職員ブログでクラブや行事の様子を写真付きで掲載。地域の情報誌『ふれあいタイムス』に毎月の行事を掲載。 ④苦情・クレームなし。アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による施設の清掃を実施。職員による備品・おもちゃの消毒・フィルター掃除等定期的に行う。 ③使用していない部屋をこまめに消灯。冷暖房の調節等も行う。ペットボトルのふた・トイレトペーパーの芯等廃材利用をした遊びの行事を大いに取り入れた。 ④おもちゃ病院に壊れたおもちゃの修繕を月に一度お願いしている。誘導灯の点検等、業者に依頼。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①センター内の簡単な修繕は職員が対応。 ②地域の方や指定管理者のつながりの中でのボランティアの方に簡単な設備等の修繕を依頼。大規模な修繕に関しては、指定管理者並びに岐阜市に要望した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施、毎月の安全点検を継続。情報共有することで、危機管理意識を高めている。 ②職員間で避難場所等共有しあっている。独自で不審者対応マニュアルを作成し、常に各自携行している。利用者と一緒に避難方法を確認。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>様々な機会を捉えアンケート(無記名)を実施。 平成29年1月27日から平成29年3月17日に利用者アンケート(無記名)を実施。 ○保護者用アンケート 回答者数168人(平成29年6月実施) ○ぴよちゃんタイムのアンケート 回答者数36人(平成29年5月26日実施) ○ロボっ子クラブのアンケート 回答者数46人(平成29年6月16日実施) ○ROBOちゃんクラブのアンケート 回答者数45人(平成29年6月20・22・27日実施) ○ポロちゃんクラブのアンケート 回答者数41人(平成29年6月21日実施) ○ぴっぴ・こっこクラブのアンケート 回答者数27人(平成29年8月25日・9月2日実施) ○パパっこクラブのアンケート 回答者数11人(平成29年9月10日実施) ○児童用アンケート 回答者数75人(平成29年8月5・8・9・10・12日実施)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○保護者用アンケート ・幼児クラブ以外での長良児童センターの利用はありますか？ ある 140人 ない 28人 ・あると答えた人のうち利用頻度はどれぐらいですか？ 月1 53人 週1 51人 それ以下 32人 それ以上 6人 ・各部屋のおもちゃは充実していますか？ 充実している 87人 普通 52人 不満 1人 ・職員に対してお聞かせください。 満足 138人 やや満足 3人 普通 8人 やや不満 0人 不満 0人 無回答 19人 ○児童用アンケート ・児童センターの事をどうやって知りましたか？ 親 31人 おたより 20人 友達 8人 学校の見学 7人 その他 3人 無回答 3人 ・おたよりを見ますか？ 見えています 63人 見ていません 12人 ・どの行事が楽しいですか？ ゾンビ大会 26人 簡単工作 19人 おやつ作り 15人 むりえ大会 9人 その他 6人 ※ 詳細は各アンケート結果を参照</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p><要望⇒回答> 保護者アンケートから ・電池のおもちゃの電池を入れてほしい。 ⇒電池が入ればなしで放置されている事や、電池の消耗が早い物があるため敢えて抜いてあります。電池がないと遊べない物に関しては職員が判断し入れてあるものもあります。 ・おもちゃ図書館のおもちゃにホコリがついていた。 ⇒毎日、掃除・点検・お子さんがなめてしまった物の消毒をおこなっていますが、より徹底して力を入れていきたいと思えます。 ・もう少し外に出て子どもに話かけてたりしてくれると良い。誰もいないときにどうしたらいいかわからなかった。 ⇒人気行事で職員が出払ってしまっている場合は、事務所に職員がおらず対応できない場合があります。出来る限りは一人ひとりに丁寧なお声掛けを心掛けていますが、今後そういったことのないように注意します。 ・制作活動をするときに子どもが大変だった。 ⇒参加されるお子さんの対象年齢に合わせて制作活動の内容を考え準備させて頂いていますが、こういったご意見も参考にさせて頂き、今後の活動内容を決めていきたいと思えます。 ・少し部屋、おもちゃが汚いのが気になる。 ⇒ご意見を頂いた後すぐに、各部屋・おもちゃの点検を行い改善させて頂きました。貴重なご意見ありがとうございました。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援活動については、アンケートや生の声をすぐに反映させて、活動の内容を考えていった。前年度の人気があった記念に残る手型・足型等の作品や、体を使った遊び等バラエティーに富んだ活動を行うとともに、夏休みの幼児クラブの切り替え期間では、利用者から提案もあり親子の活動を今年度から4回企画実施して好評を得た。 ・また今期の目玉行事である月一度日曜開催のパパっこクラブでは、父親の育児参加の意識改革が生まれ、後期継続事業となっていく。 ・移動児童館のロボッ子タイムでは幼児クラブに誰でも参加できる自由参加事業であるが、毎回ロコミで好評を得て、60組程の親子の参加があり未設置地区の子育て支援の一躍を担った。 ・児童対象ボランティア育成事業である友遊クラブでは、老人施設訪問が定着しつつあり、今期から施設側からの新規の依頼を受けて訪問施設が増加。未設置地区の3世代交流の場になっている。 ・ブログ更新はできる範囲で行ってきた。1回のアクセス数が9,000に達する回もあり、来館者数アップと広報活動の成果がみられた。 ・青少年育成会議が主催する親子ふれあい教室では長良西・長良東・長良と3地域がそれぞれ児童センターを認識していただき、母親クラブの活動も各々活発に行っている。 ・児童センターの環境整備に心掛けた。修理や点検・リメイク等専門業者や職員自らが、整理しつつある。
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回委員会の意見「今後も様々な活動により地域の子育て支援の一翼を担うよう努力いただきたい」 ・地域の母親からの要望を取り入れ、今期は新規事業として夏休み中に未就園児のみならず、就園児も参加できる幼児クラブを単発で4回実施した。 ・前回移動児童館利用者減少と明記したが、今期は北部コミュニティセンターの駐車場の規模と、ロボッ子タイムの認識の定着で、毎回40から60組程の親子連れで賑わい、一定の効果が得られた。 ・昨年度作成した不審者対応マニュアルを職員全員が携行。非常時に備え、各自シミュレーション。 ・児童のボランティア育成の友遊クラブの活動で大学のボランティアに依頼して、金華山登山や社会見学やカレー作り・お化け屋敷等行事ごとにスタッフとして活動していただき、子ども達にボランティア精神を養い児童センターとの信頼関係を得ている。 ・母親クラブの総会1回・リーダー会を2回行い、前期の活動状況など共有。それぞれのクラブが盛んに活動している。 ・アンケートの回数を増やし各クラブで質問内容を変えていき、利用者の要望に迅速に対応した。
<p>今後の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度始まったパパっこクラブは、大変好評の企画となった。前期終了後のアンケートから父親同士の横のつながりが持てるという意見が出たので、後期は父親同士の交流ができる場を設定する活動を取り入れる予定。 ・地域の小学校や未設置地区の小学校からの絵本の読み聞かせの依頼に対応。好評を得ている。今後も地域に根差した活動を目指す。 ・アンケート結果でご指摘を受けた環境整備の面では、清掃・消毒等こまめに行い、利用者が気持ちよく使っていただけるよう職員一同周知していく ・土曜日や、幼稚園等の長期休暇の活動を増やして、家族全員(父親・祖父母も)参加できるような行事等作ってほしいという要望に応えていく。

●所管課の意見

<p>毎月作成するおたよりを、担当小学校・幼稚園・保育所・公民館・地域の公園・コミュニティーセンター・保健センターに配布、ホームページにも掲載した。また、ホームページのブログには活動の様子を写真付きで紹介した。</p> <p>利用者アンケートを様々な機会に実施したことから、利用者の意見やニーズの把握に努めた。</p> <p>今期からの新規事業として、父親に育児参加を促す事業として「パパっこクラブ」を開催した。この事業は、父親の育児に対する意識の高まりや母親のレスパイトへの手助けになったことに加え、父親の育児参加によって再来館する機会が増えたことから、前年度同期に比べ利用者増(乳幼児、保護者それぞれ増、保護者は8%増。)につながった。</p> <p>移動児童館について、積極的に実施し、上半期だけで23回開催されており大いに評価したい。仕様書による目標数値の24回/年(平均2回/月)は達成が確実で、下半期も引き続き行って頂きたい。</p> <p>今期台風の接近が相次いだ。所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。</p> <p>職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>移動児童館について、今期23回と積極的に開催されており、児童館の無い地域の利用促進に努めていることを大いに評価したい。</p> <p>今期より始めた父親向けの子育て支援事業は、父親の育児参加を積極的に促し、また父親同士の交流を深める取組みとして非常に有意義であると考えられることから、今後も継続して頂きたい。</p> <p>利用者アンケートにおいて、すべての利用者が次回の幼児クラブへの参加について、「します」と回答したことは、利用者のニーズを事業に反映させ、母親達自身の楽しむ機会を積極的に提供している表れであり、評価できる。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
